

第1章 草加市の概要

1 自然的条件

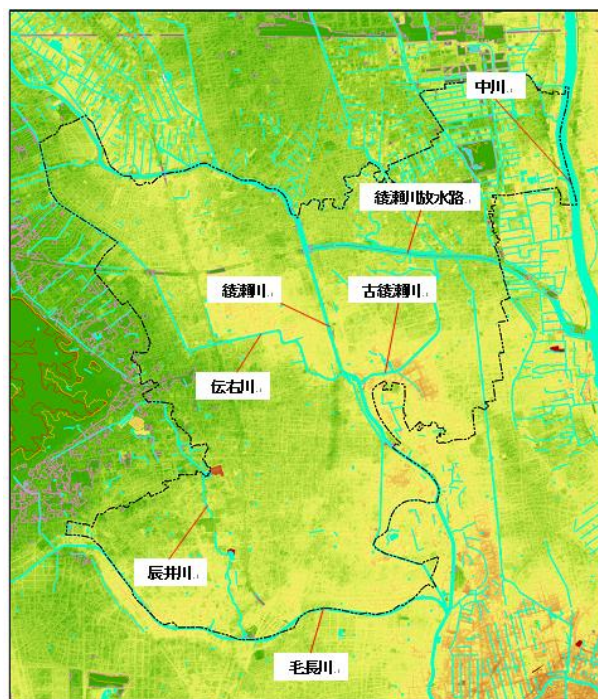
(1) 地形・地質

草加市は、安行台地と下総台地に挟まれ、沖積平野である中川低地の中に位置しており、平均標高約2mの平坦な地形となっています。

これまでの都市化の過程で、盛り土、客土などの入が多く入り、自然の地形はあまり見られなくなっています。

河川は、古利根川とも呼ばれた中川や綾瀬川をはじめ、多くの河川・水路があり、水とみどりのネットワークの基盤となっています。

■河川・水路



(出典) 国土数値情報より作成

■地形・地質の特徴

地形	地質
- 市域全体が三角州性低地に分類 - 河川沿いの所々に自然堤防地形が存在	- 市のほぼ全域が堆積した未固結の泥 - 東端の中川沿いの一部のみ砂

(出典) 1/50,000 土地分類基本調査 (地形分類図)

(出典) 1/50,000 土地分類基本調査 (表層地質図)

(2) 生物の生息

市内に残されている樹林や農地、河川、水路等の自然環境は、生物が生息する空間です。本市における希少な植物としては、低地帯の河川敷内に生育する多年草であるキタミソウ、水田や池沼の水面に群生するイチョウウキゴケなど、水辺環境に生息する種が中心となっています。葛西用水には、キタミソウが自生しており、農業用水が入らない冬の川底で見ることができます。

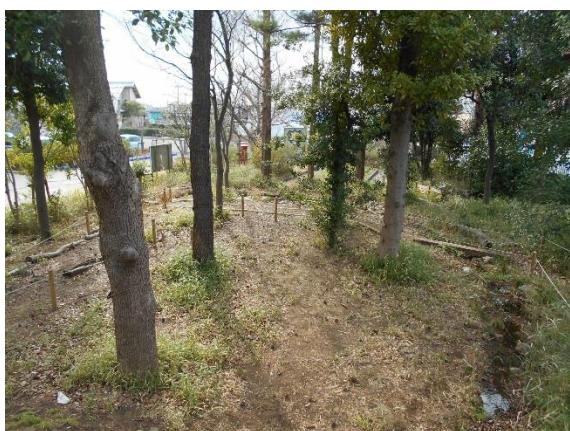
また、都市部での自然再生や生態系保全の有効な手法であるビオトープとして、古綾瀬自然ひろばや川柳小学校「野鳥の森」ビオトープがあるほか、チョウゲンボウやカワセミなどが現れる綾瀬川バードサンクチュアリ（「鳥と友だち広場」、「トンボ池」、「あやせ新栄ビオトープ」）があり、これらのビオトープは、生きものとふれあうことができる場となっています。

■キタミソウ



（出典）第二次草加市環境基本計画

■川柳小学校「野鳥の森」



■古綾瀬自然ひろば



■綾瀬川バードサンクチュアリ（「鳥と友だち広場」）



■綾瀬川バードサンクチュアリ（「トンボ池」）



2 社会的条件

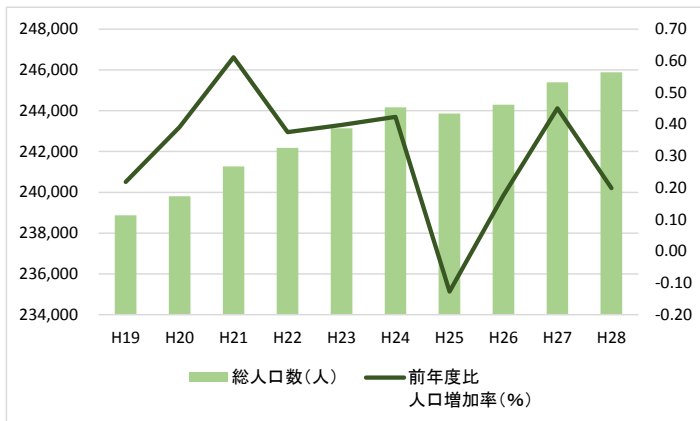
(1) 人口

平成 28 年 1 月 1 日現在の総人口は、245,878 人となっています。平成 19～28 年までの総人口を見ると、増加基調で推移しています。前年比の増加率は平成 21～25 年で低下傾向にあったものが、その後増加しています。

平成 28 年の年齢別の人口割合を見ると、団塊ジュニアを含む 40 歳代が 17.9%で最も多くなっており、今後これらの世代の加齢によって高齢化が急速に進むと考えられます。また、0～9 歳及び 10 歳代が、10.0%以下となっており、少子化の傾向が見られます。

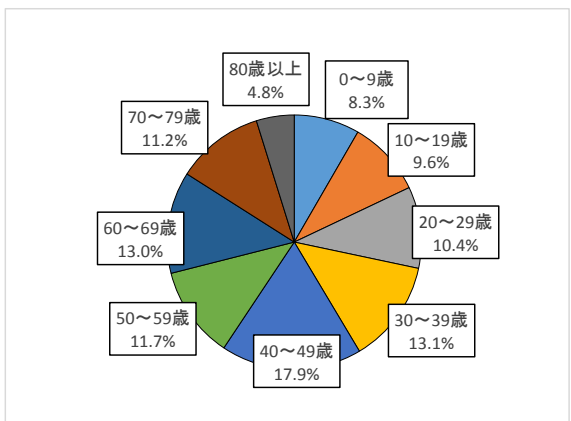
草加市人口ビジョン（2016 年 3 月）によると、将来人口は、現状で推移した場合、平成 72 年には 183,510 人となると推計しています。一方、同ビジョンにおいてめざすべき人口は、出生率の上昇を図ることにより、218,926 人と推計しています。

■総人口・増加率の推移（各年 1 月 1 日現在）



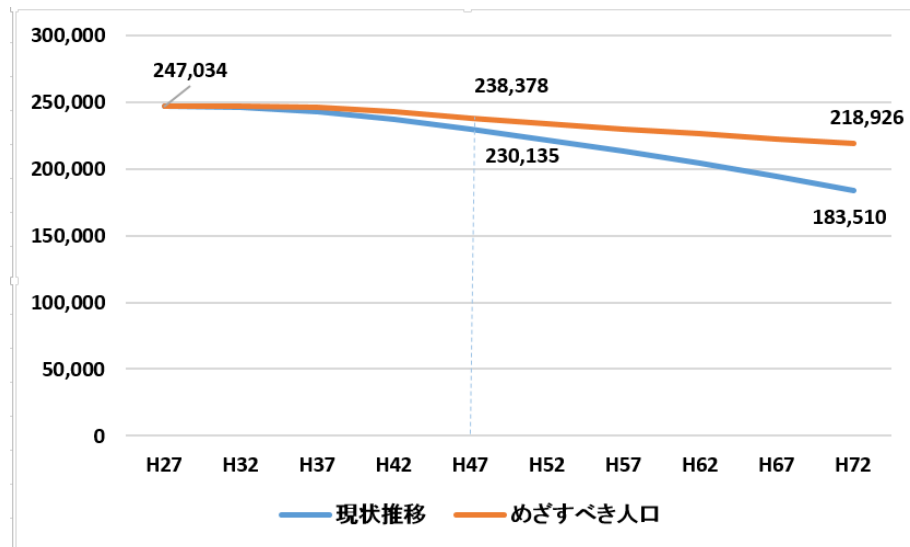
（出典）住民基本台帳

■年齢別人口比（平成 28 年 1 月 1 日現在）



（出典）住民基本台帳

■将来人口の推計



注 1) H27：国勢調査

注 2) 現状推移：草加市人口ビジョン（2016 年 3 月）における「本市独自推計」の値

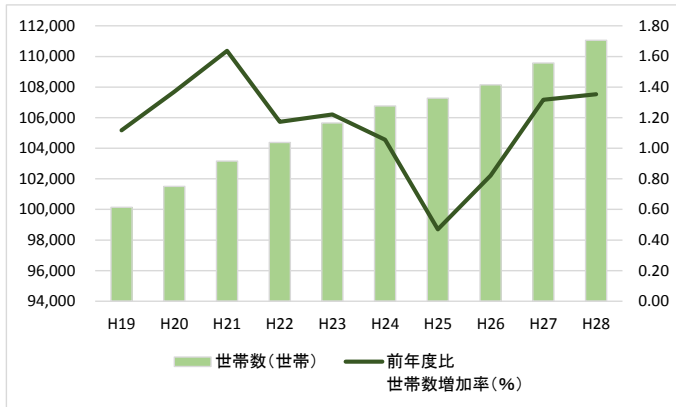
（出典）草加市人口ビジョン（2016 年 3 月）

(2) 世帯

平成 28 年の総世帯数は 111,058 世帯となっています。平成 19～27 年までの総世帯数を見ると、増加基調で推移しています。前年比の増加率は平成 21～25 年で低下傾向にあったものが、その後増加しています。

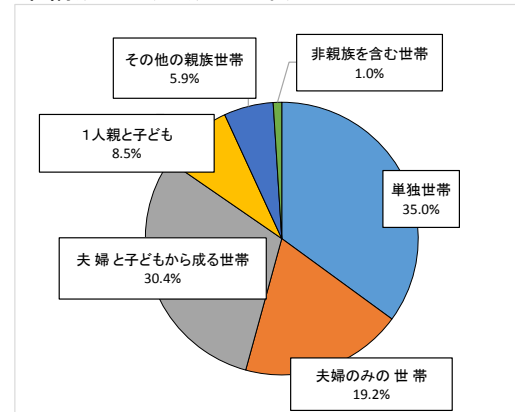
また、平成 27 年の世帯構成比を見ると、単独世帯（35.0%）が最も高く、次いで夫婦と子どもから成る世帯（30.4%）、夫婦のみの世帯（19.2%）となっています。

■総世帯数・増加率の推移（各年 1 月 1 日現在）



（出典）住民基本台帳

■世帯構成比（平成 27 年）



（出典）国勢調査



500m メッシュ単位で市内の人口密度分布を見ると、東武スカイツリーライン沿いでは、120 人/ha 以上のメッシュが連続して分布しています。一方、「草加川柳」地区の市街化調整区域や、工業系の土地利用が多い「草加東部」地区と「草加稲荷」地区の古綾瀬川沿いでは、40 人/ha 未満の地域となっています。

平成 22 年の人口密度分布

人口密度 (ha)

40人/ha未満	河川・水域
40人/ha以上60人/ha未満	駅
60人/ha以上80人/ha未満	鉄道
80人/ha以上100人/ha未満	コミュニティブロック
100人/ha以上120人/ha未満	
120人/ha以上	

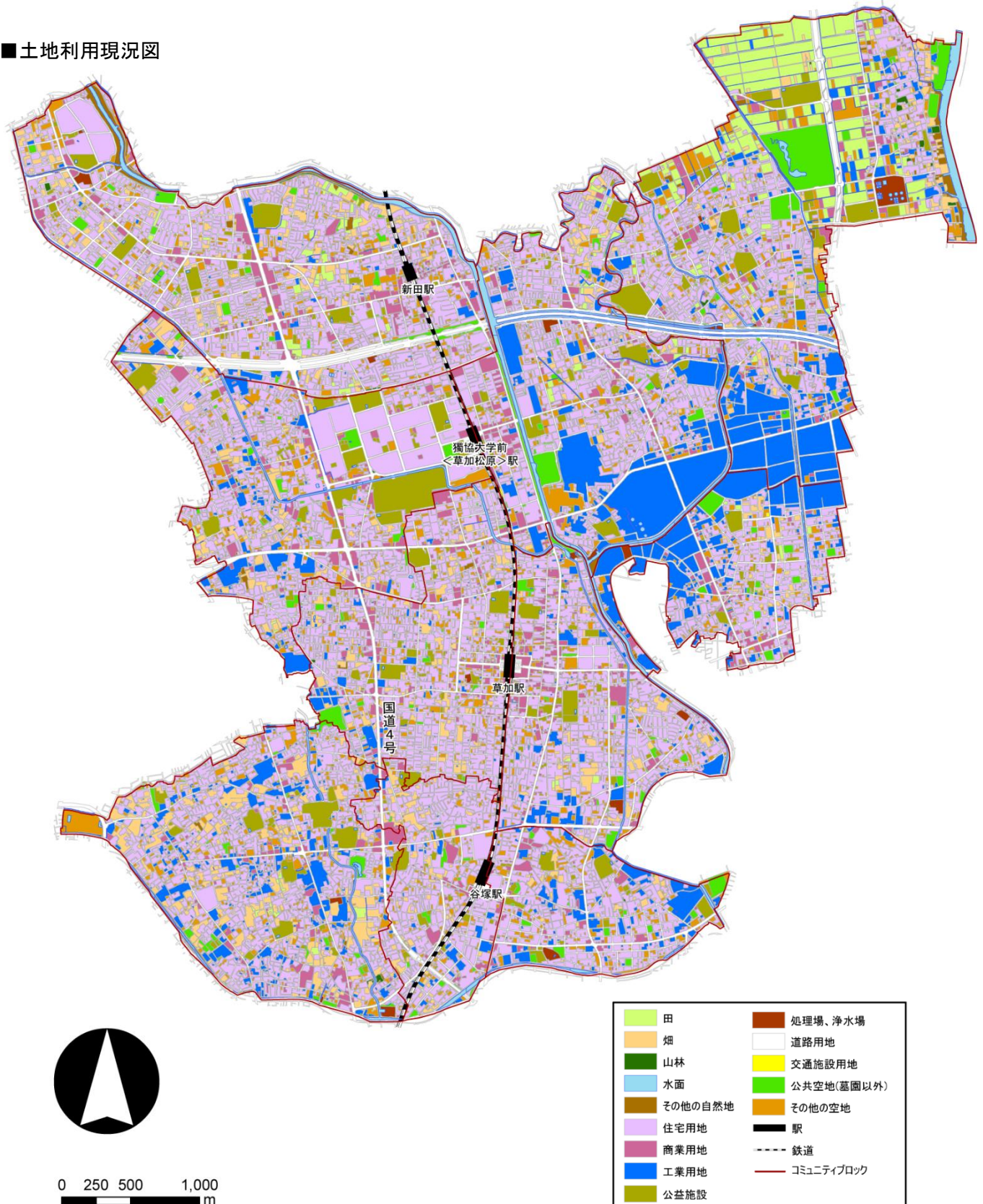
0 250 500 1,000 m

9

(4) 土地利用現況

市内の土地利用現況をみると、「草加川柳」地区では、田畑が多く分布し、市東部の古綾瀬川沿いでは、工業用地が広く分布しています。市内4駅周辺や国道4号沿いには商業用地が、「谷塚西部」地区では畑が多く見られます。

■土地利用現況図



土地区画整理事業や市街地再開発事業など、面的にまとまりのある地区を対象に宅地の造成と道路・公園などの都市基盤施設の整備を同時に行う事業を総称して「市街地開発事業等」としました。市内の市街地開発事業等の分布を見ると、事業完了区域は、「新田西部」地区や「草加稲荷」地区をはじめとする古綾瀬川周辺地域、さらに草加駅・谷塚駅の東西口や手代町と毛長川沿いの一部地域、「谷塚西部」地区の西側の遊馬町の一部地域にあり、事業完了区域は、計画的に公園などが整備されています。

一方、新田駅周辺に事業中の土地区画整理事業（新田駅西口、新田駅東口）があり、計画区域として「草加西部」地区の氷川町土地区画整理事業（氷川町第二次区域）が存在しています。

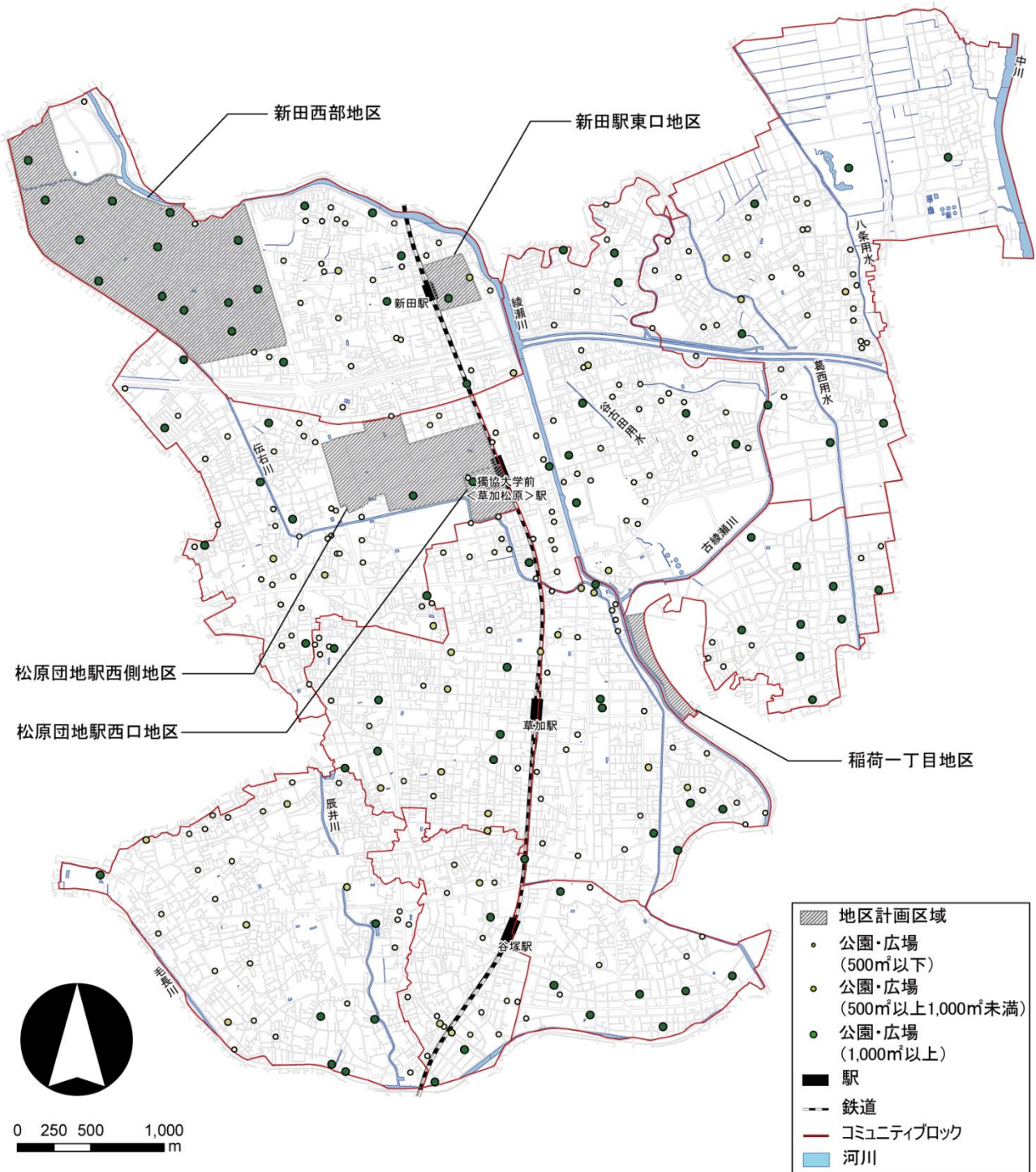
[illegible]

11

(6) 地区計画区域

市内の地区計画区域は、「新田西部」地区の西側（新田西部地区）、新田駅東口地区、獨協大学前＜草加松原＞駅西側から松原団地の地区（松原団地駅西側地区、松原団地駅西口地区）、さらに綾瀬川と古綾瀬川の合流地点の南側（稲荷一丁目地区）に分布しており、土地区画整理事業が完了している新田西部地区や住宅市街地総合整備事業が施行中の松原団地西側地区は、計画的に公園などが整備されています。

■ 地区計画



草加市都市計画マスタープラン基礎調査を基に作成

(7) 都市計画道路整備状況

市内の主要幹線道路は北部を横断する「高速外環状道路」及び「外環状道路（国道298号）」（以下「外環道」という。）と「草加川柳」地区を縦に通る「東埼玉道路」（自動車専用道路部である地域高規格道路は未整備で、その側道となる国道4号は整備済）の2つがあり、外環道沿いには、環境施設帯が設けられ、街路樹などのみどりが多く分布しています。

さらに、整備済の幹線道路として、市を縦貫する「国道4号」と「足立越谷線」、「八潮越谷線」、市中央を横断する「浦和流山線」が通っており、市の南部地域では、東西に走る草加三郷線と南北に走る浦和東京線が、既存道路の拡幅を基本として計画されており（一部区間は整備済み）、両者が交差する地点では事業中となっています。

■都市計画道路整備状況図

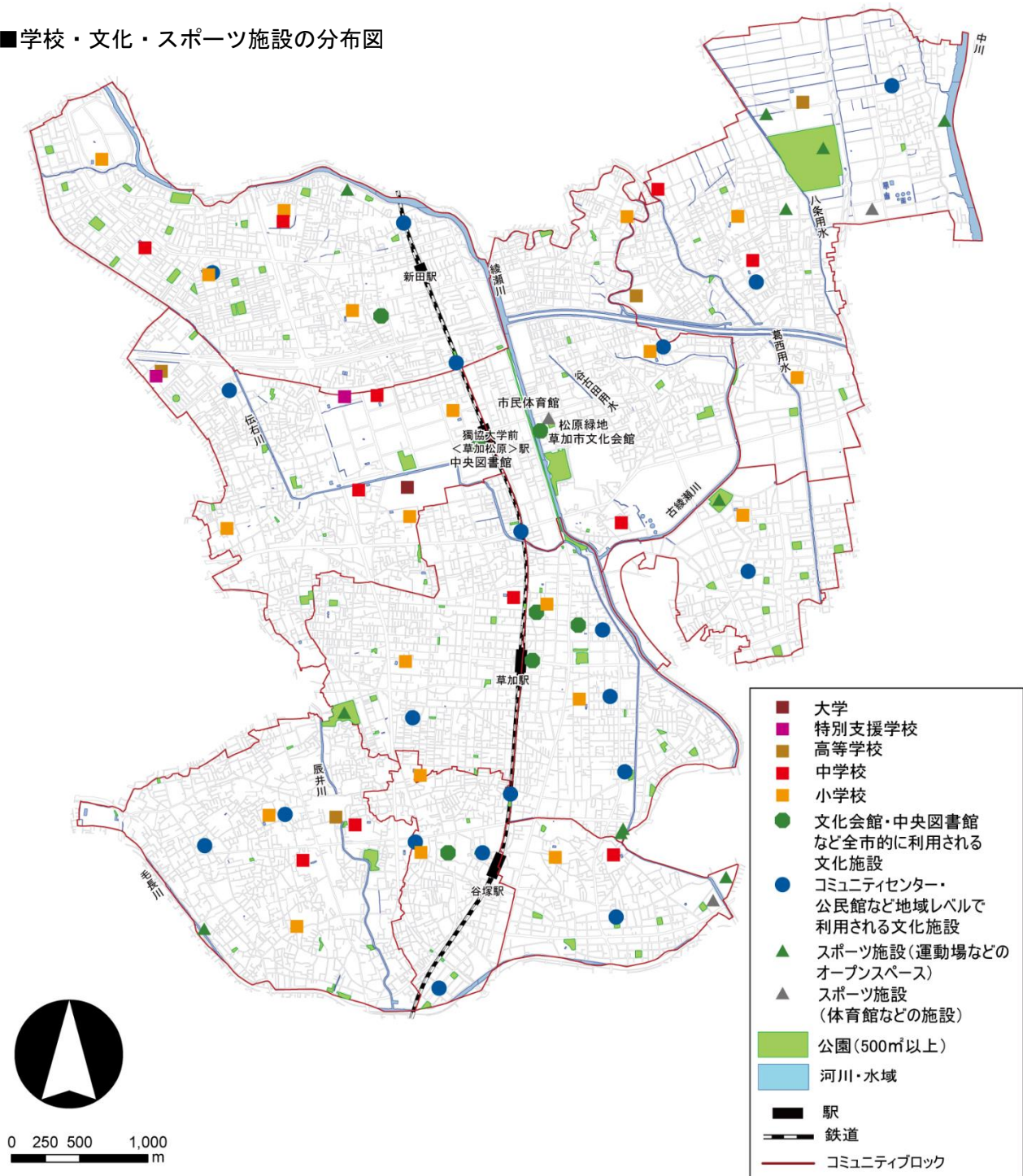


(8) 学校・文化・スポーツ施設

学校や文化施設、スポーツ施設は、敷地内のオープンスペースを活用することにより、まとまった緑化の空間としての役割が期待されるほか、市民生活に身近な施設であることから、緑化のシンボルとなる空間です。また、学校では、空閑地を利用したビオトープの整備を進めてきており、子どもたちが、身近に自然とふれあうことができる空間にもなっています。

学校や文化施設、スポーツ施設の分布を見ると、綾瀬川沿いに立地する市民体育館、草加市文化会館と、その東側に隣接する松原緑地は、公共施設と公園・水辺空間が一体となったオープンスペースを形成しています。小中学校やコミュニティセンターなどは、地域単位で配置されていることから、身近なみどりの拠点として活用することができます。一方、各種公共施設の改築等の際には、教育環境や周辺への配慮、維持管理上の課題などから、多くの緑地を確保できないケースもあります。

■学校・文化・スポーツ施設の分布図



草加市都市計画基礎調査を基に作成

周辺と一体的なみどりを形成することが考えられる地域のみどり資源として、市の指定文化財（建造物）や「草加まち歩きマップ」、「さくらマップ」に掲載されている歴史文化資源などの分布を見ると、市中央の「草加東部」地区には甚左衛門堰や八幡神社などがあり、「新田東部」地区には国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」があります。また、市北部の「新田西部」地区には旭神社や宝積寺などが、市南部の「谷塚西部」地区には毛長神社や泉蔵院などがあり、「谷塚東部」地区には浅間神社などがあります。さらに、市北東部の中川沿いには東漸院や女体神社があります。

■ 歴史的文化的資源・都市公園の分布と緑被

綾瀬川
バードサンクチュアリ

金明町綾瀬川沿い
桜並木

谷古田用水沿い
桜並木

そうか公園の桜

東漸院

中川

下妻街道跡

音店河岸跡

女体神社

経塚跡

八条用水

三覚院

葛西用水

札場河岸公園
桜並木

葛西用水沿い
桜並木

古綾瀬川

草加松原

草加文化会館

百代橋

獨協大学前
<草加松原>駅

矢立橋

神明宮

東福寺

おせん茶屋公園

甚左衛門堰

八幡神社

藤城家住宅店舗・内蔵・外蔵

日枝神社

谷塚駅

浅間神社

瀬崎の富士塚

宝持院

私立松寿学館跡

毛長神社

泉蔵院

むじなの森跡

辰井川

伝右川沿い峯分橋付近
桜並木

綾瀬橋

旭神社

宝積寺

新田駅

藤助河岸

蒲生大橋

草加神社

草加市立歴史
民俗資料館

草加駅

辰井川

北綾瀬川

0 250 500 1,000
m

● 歴史文化資源(建造物)

— 歴史文化資源(線的空間)

— 桜並木

○ 公園・広場(500㎡以下)

○ 公園・広場(500㎡以上1,000㎡未満)

● 公園・広場(1,000㎡以上)

■ 駅

--- 鉄道

— コミュニティブロック

■ 河川・水域

15